

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 (文学) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	樊 可人
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) 近世日本における『西廂記』受容に関する研究			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)		准教授	陳 翀
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授	小川 恒男
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授	久保田 啓一
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授	有馬 卓也
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		准教授	川島 優子
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		九州共立大学・教授	黄 冬柏
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、近世日本における『西廂記』受容について考察を加えたものである。本篇は、序章、上篇、下篇、終章の四つの部分からなる。また、資料篇として「遠山荷塘『諺解校注古本西廂記』翻字稿」と「遠山荷塘『嫦娥清韻』翻字稿」の二篇を付す。</p> <p>序章では、まず本研究の背景と目的について述べ、蔵書目録に見られる『西廂記』、唐話辞書に引用される『西廂記』、そして文学作品に言及される『西廂記』の三つの面から、近世日本における『西廂記』の伝来と受容の状況を概観した。</p> <p>上編では、『西廂記』と関わりのある遠山荷塘の二つの著作、『諺解校注古本西廂記』（以下『諺解本』）及び『嫦娥清韻』を分析し、また作者である荷塘の事跡についても考察を加えた。</p> <p>第一章では、遠山荷塘の事跡と結び付けつつ、『諺解本』の成立過程・成立時期及び編纂意図を明らかにし、『諺解本』と小説読書会との関係について考察を行った。</p> <p>第二章では、先行研究がほとんど見られない『嫦娥清韻』という遠山荷塘の著作とすでに散佚したとされてきた『月琴考』との関係について考察した上で、『嫦娥清韻』の成書過程、同書所収の曲譜の受容状況及び『西廂記』との関連性に言及しており、極めて実証性の高い論考となっている。</p> <p>第三章では、『嫦娥清韻』や従来知られていなかった『黄口雑字類篇』等の著作に遠山荷塘の事跡と結び付けつつ分析を加え、荷塘の月琴製造に関する事跡についても言及した。</p> <p>下編では、明清楽、八股文及び酒令を取り上げ、『西廂記』そのものではなく、『西廂記』を取り巻く様々な文物を通して、近世日本における『西廂記』の受容状況を広く文化的見地から分析した。</p> <p>第四章では、江戸末期から明治中期にかけて広く民間に普及した明清楽に見られる『西廂記』と関わりのある曲に共通する特徴及び受容状況について考察を行った。</p> <p>第五章では、「唐六如先生文韻」（才子文）に着目し、その文章収録状況や成立経緯、編纂意図について論述を行い、また本作品の日本における受容についても考察を加えた。</p> <p>第六章では、『巾箱小品』所収の「西廂記酒令」を中心に、『西廂記』と関わりのある酒令の変遷や、その特徴、また江戸時代における受容状況を論じた。</p> <p>終章では、各章の内容をまとめ、近世日本における『西廂記』の受容は、『西廂記』そのものの享</p>			

受に限定されるものではけっしてなく、中国で生まれた同書と関わりのある詩や小曲、酒令などによっても日本人に楽しまれたことを指摘した。

本論文は、文献整理からはじめ、各蔵書機関に所蔵されている『西廂記』に関する一次資料を精力的に収集し解読して、江戸文人によって独自に作成された『西廂記』注釈書を中心とする唐話学習資料群の存在を明らかにした。さらに、これらの資料を俯瞰して総合的な研究を行い、『西廂記』は、江戸文人の案頭の愛読書であったばかりではなく、酒宴・遊楽・戯作などの日常生活にも多大な影響を及ぼしたことを初めて明らかにした。文献資料の解釈や論考の方法にやや不十分な点もみられるが、近世日本における中国古典戯曲受容の実態の解明に資する重要な研究として高く評価できる。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（文学）の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)